

平成24年1月24日

ご取材のお願い

公益財団法人ヤマト福祉財団

すかがわ岩瀬農業協同組合 低温倉庫新築に伴う起工式の開催

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第一次助成先の一つであるすかがわ岩瀬農業協同組合（福島県須賀川市）にて、本年7月完成予定の農業用低温倉庫の起工式が行われる運びとなりました。

すかがわ岩瀬農業協同組合は3市町村に約10,000人の組合員を有し、野菜や果物の生産だけでなく、数多くのブランド米の開発、推進を行うことで地域経済の発展に寄与してきましたが、東日本大震災によってその施設の多くが損壊し、生産活動に大きく支障をきたしています。

ヤマト福祉財団では、農業用施設の復旧は、地元の産業および生活の再生に不可欠であると考え、平成23年9月に2億5500万円を上限とする助成をいたしました。この助成により、①被災した6つの農業用倉庫を集約し、フォークリフトのある効率的な大型の倉庫を新築する、②従来の倉庫は常温保管しかできなかったが、低温保管が可能になり農産物の品質を保つことができる、③原発事故に伴う風評被害を払拭するための検査機器を完備し、消費者に安心・安全を提供する、という新しい機能を備えた施設が誕生します。

福島県、そして東北の復興は途上にあります。震災による被害、原発事故による風評被害に苦しむ農業の再生を支える今回の取組みを、何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1. 日時

平成24年1月30日（月） 午前11時より

2. 場所

福島県須賀川市矢沢字新田中2

すかがわ岩瀬農業共同組合 岩瀬支店 事務所裏側

(TEL: 0248-65-2101)

3. 主な参加者（敬称略）

- (1) すかがわ岩瀬農業協同組合 組合長 嶋原 力
- (2) 福島県中地方振興局 局長 小松 信之
- (3) 須賀川市 市長 橋本 克也
- (4) 鏡石町 副町長 助川 浩一
- (5) 天栄村 副村長 門馬 秀幸
- (6) ヤマト運輸株式会社 東北支社 支社長 田原 良和
- (7) 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富 慶二

※ 公益法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。140億円以上が見込まれるヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般からも募金を募り、「見える支援・速い支援・効果の高い支援」をテーマに、単なる資金提供だけでなく、新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指しています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。

